

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）事後評価書

平成31年3月29日

計画の名称	浦安市災害に強い道路ネットワークづくり（防災・安全）					重点計画の該当																																	
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）			交付対象	浦安市																																		
計画の目標	東日本大震災に伴う液状化被害を克服しより安全な都市環境を創造するため、主要な幹線道路の車道や歩道、駅周辺等の歩道の液状化対策を図るとともに、道路ネットワークの充実を図る。																																						
計画の成果目標（定量的指標）	①緊急輸送路に指定されている幹線道路の液状化対策の実施等の道路ネットワークの整備割合を0.0%（H24）から86.4%（H28）に増加させる。 ②緊急車両等の通行を確保するためのバイパス道を整備する。 ③人が多く集まる駅周辺や海岸等の歩道部分の液状化対策の実施割合を0.0%（H24）から82.7%（H28）に増加させる。 ④東日本大震災で被災した駅前広場や護岸と一体となった歩道を復旧する。																																						
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H24当初)</th> <th>中間目標値 (H26末)</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①緊急輸送路に指定されている幹線道路の液状化等対策率 液状化等対策された幹線道路の延長(km) / 液状化等対策が検討されている緊急輸送路に指定されている幹線道路の延長(km)</td> <td>0.0%</td> <td>75.8%</td> <td>86.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②市道7-104号線の延伸 バイパス道（市道7-104号線）の整備率</td> <td>0.0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③駅周辺や海岸部の主要な歩道の液状化対策率 液状化対策された歩道の面積(m²)/新浦安駅と舞浜駅及びシンボルロード先端部の歩道の面積(m²)</td> <td>0.0%</td> <td>57.9%</td> <td>82.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④舞浜駅北口広場と幹線9号先端歩道部の復旧 舞浜駅北口広場と幹線9号先端歩道部の復旧率</td> <td>0.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	①緊急輸送路に指定されている幹線道路の液状化等対策率 液状化等対策された幹線道路の延長(km) / 液状化等対策が検討されている緊急輸送路に指定されている幹線道路の延長(km)	0.0%	75.8%	86.4%		②市道7-104号線の延伸 バイパス道（市道7-104号線）の整備率	0.0%	100%	100%		③駅周辺や海岸部の主要な歩道の液状化対策率 液状化対策された歩道の面積(m ²)/新浦安駅と舞浜駅及びシンボルロード先端部の歩道の面積(m ²)	0.0%	57.9%	82.7%		④舞浜駅北口広場と幹線9号先端歩道部の復旧 舞浜駅北口広場と幹線9号先端歩道部の復旧率	0.0%	100.0%	100.0%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																			
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)																																				
①緊急輸送路に指定されている幹線道路の液状化等対策率 液状化等対策された幹線道路の延長(km) / 液状化等対策が検討されている緊急輸送路に指定されている幹線道路の延長(km)	0.0%	75.8%	86.4%																																				
②市道7-104号線の延伸 バイパス道（市道7-104号線）の整備率	0.0%	100%	100%																																				
③駅周辺や海岸部の主要な歩道の液状化対策率 液状化対策された歩道の面積(m ²)/新浦安駅と舞浜駅及びシンボルロード先端部の歩道の面積(m ²)	0.0%	57.9%	82.7%																																				
④舞浜駅北口広場と幹線9号先端歩道部の復旧 舞浜駅北口広場と幹線9号先端歩道部の復旧率	0.0%	100.0%	100.0%																																				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,888百万円	A		1,888百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																										

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制・実施時期		事後評価（中間評価）の実施時期		平成31年3月
事後評価（中間評価）の実施体制		公表の方法		市のホームページに掲載
庁内の担当部署				

1. 交付対象事業の進捗状況

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	事業内容及び工種	率(基本)	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費(百万円)	個別施設政策策定状況	備考
											H24	H25	H26	H27	H28			
6-A1	道路	一般	浦安市	直接	-	市町村道 耐震	0.55	浦安市道幹線10号液状化対策第1工区	液状化対策 L= 480m	浦安市						274	-	
6-A2	道路	一般	浦安市	直接	-	市町村道 耐震	0.55	浦安市道幹線11号液状化対策第1工区	液状化対策 L= 200m	浦安市						98	-	
6-A3	道路	一般	浦安市	直接	-	市町村道 耐震	0.55	シンボルロード美浜側液状化対策	液状化対策 L= 350m	浦安市						88	-	
6-A4	道路	一般	浦安市	直接	-	市町村道 耐震	0.55	シンボルロード先端部液状化対策	液状化対策 L= 50m	浦安市						52	-	
6-A5	道路	一般	浦安市	直接	-	市町村道 耐震	0.55	舞浜駅北口駅前広場液状化対策	液状化対策 840m	浦安市						18	-	
6-A6	道路	一般	浦安市	直接	-	市町村道 耐震	0.55	市道7-104号線の延伸	取付道路改修 1500m ²	浦安市						5	-	
6-A7	道路	一般	浦安市	直接	-	市町村道 耐震	0.55	幹線11号液状化対策第2工区	液状化対策 L=1845m	浦安市						1,022	-	
6-A8	道路	一般	浦安市	直接	-	市町村道 耐震	0.55	浦安市道幹線10号液状化対策第2工区	液状化対策 L= 410m	浦安市						232	-	
6-A10	道路	一般	浦安市	直接	-	市町村道 耐震	0.55	幹線6号舞浜側液状化対策	液状化対策 L= 940m	浦安市						99	-	
											合計					1,888		

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	率(基本)	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費(百万円)	備考	
											H24	H25	H26	H27	H28			
												合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

C 効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	率(基本)	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費(百万円)	備考	
											H24	H25	H26	H27	H28			
												合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

D 社会資本整備偏平化地盤整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	率(基本)	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費(百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
											合計	0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果				備考
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		次の災害に備えて、液状化対策済みの道路ネットワークの充実が図られた。 緊急車両の通行を確保するためのバイパス道の整備が完了した。 人が多く集まる駅周辺の液状化対策が実施された。			
II 定量的指標の達成状況	指標① 幹線道路の液状化対策率	最終目標値	86.40%	目標値と実績値 に差が出た要因	液状化対策が検討されている幹線道路の延長が、整備計画策定時より増えたため。 (整備計画策定時は埋め立て区域の幹線道路を対象としていたが、H29年度の委託業務において、埋め立て区域外の幹線道路についても液状化対策が必要と判断された。)
		最終実績値	24.21%		
	指標② 市道7-104号線の整備率	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標③ 主要な歩道の液状化対策率	最終目標値	82.70%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	82.70%		
	指標④ 舞浜駅北口広場と幹線9号 先端部の復旧率	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		東日本大震災により被災した舗装や道路付属物等の復旧が実施された。			
3. 特記事項(今後の方針等)					
埋め立て区域外(元町地区)の幹線道路について、今後も液状化対策を進めていく。					